

子ども達は 自然が 育ててくれる

2004年
移住

インタビュー

植村 かつかさん

(南木曾町出身)

世帯構成 ・夫婦
・お子さん4人

お仕事
繁殖和牛



移住(Uターン)した経緯を教えてください

いつ香さん 高校卒業後、東京の服飾専門学校で学んだんですけど、東京の水や空気は私には合わないと感じ20歳の時に帰ってきました。うちはずっと肉用牛経営をしてきていて、子どもの頃から父の傍で手伝ってきたその仕事に、今度は自ら仕事として関わることになったわけですが、「ああ、収まるべき場所に帰ってきた」そんな感じでした。

この仕事で心がけていることはありますか？

いつ香さん 一言でいえば「楽しみながらやる」ってことです。子どもの頃から牛の世話も好きでした。安定した仕事ではないかもしれないけど、そこにチャレンジするっていうのも嫌いじゃなくて、今は親が5頭に子が4頭。親をあと2頭くらい増やそうかなって思っています。

町に帰ってきて良かったと思う点は？

いつ香さん 友達は割と多く地元に残っていて、私は帰郷して2年後に結婚したけど、同じ年代の皆も同じ頃に結婚したので、子どももほぼ同

じ年ごろ。参観口に行けば自分たちの同級会みたいに見えるし、仲間が傍にいるっていう安心感がありますよね。

あなたの「元気」の素は何ですか？

いつ香さん 自然と家族です。基本的に私は「子どもは自然が育てる」と思っていて、大好きなこの与川の自然の中で子ども達はのびのびと育てられています。これからは人ができることは全部機械ができる時代になっていくだろうから、人にしかできないこと、思いやりとか絆とか、そういうことを身につけていくことがほしいですね。

移住を考えている人にアドバイスはありますか？

いつ香さん 移住した場所を思いきり楽しむことじゃないでしょうか。それと、自然も家も土地も、今たまたま私たちがこの代で使わせてもらっているだけで、すべては地球からの借りものだと私は考えています。ずっとここに暮らしてきたか移住してきたかの違いはあっても、それをどうやって今後の時代に手渡していくかを、地域の皆で考えることが大切だと思います。

